

和田まさむね氏に聞く

地方都市の未来

後編



No.598 7月号 2025

きたほ
Hotline

和田まさむね氏に聞く

地方都市の未来

希望ある未来へ 税の在り方とは

後編

前回に続き、仙台北法人会会員であり、参議院議員を務める和田まさむね氏をお迎えして地方創生を語る後編。今回は、教育や少子化問題などにも話題を広げながら、日本、そして地方都市の希望につながる税の在り方について伺いました。

◆都市戦略の成功例・福岡

― 前は、東北・仙台の未来について、仙台藩主・伊達政宗公の復興政策にも触れながら、東北の中心である仙台の経済人が引く張つていく発想や気が必要というお話をいただきました。

今回は税の観点でお話したい。税収は昨年、過去最高額

ですが、企業倒産件数も最大。アンバランスな社会ですね。

本来税は公平ですが、大都市と地方で人口規模、売り上げ規模といった経済的格差がある中で、税制が同じであることが公平ではないとも感じます。地域差を加味した納税制度なら、結果として地方創生に繋がるのでは。法人税も所得税と同じように累進課税

でいいのではとも思います。

和田政宗氏(以下和田) 税の徴収を優先するか、経済を活性化して税収を増やすか。私は後者で、経済を動かすのが重要と考えています。

政策誘導はもちろん大事です。福岡は若い世代が流入し、再開発も進む成長都市と言われます。市長の高島宗一郎

社会を考える教育を

1974年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業(日本外交史)後、NHKアナウンサー職を経て参議院議員。フリーアナウンサー事務所・株式会社和田政宗事務所代表、仙台北法人会会員。2013年第23回参議院議員通常選挙 宮城県選挙区において初当選。自民党所属。

和田 まさむね 氏

さんは、元アナウンサーで友人ですが、都市の成長と生活の質の向上の好循環の創出を基本にアジアのリーダー都市を目指すと言っています。

空港が近いため、高さ制限のある地域で建物の容積率緩和などの方策（福岡市都心部機能更新誘導方策）を打ち出

たのは、地下鉄南北線開業（1987年）の際、通りに都市ガスを引いてガス灯を灯しました（現在は8基を残しLEDに改修）。都市ガスを屋台にも利用して、観光施策として整備する発想があれば、にぎわいにつながったかもしれないですね。

手入れをし、その分のクレジットを売れるようにすれば、副収入が入る。子育て世代の移住やUターンを促すことになるかもしれません。

―地域にあるものを生かし、人、経済を動かす政策が大事ですよ。

「山林の手入れ」「無税特区」 地方移住を促すアイデアがあります

すなど、都市機能を強化し魅力的なまちをつくっています。

名物の「屋台」も一時、ほかの都市と同じように公衆衛生の面などから規制され衰退の危機にありましたが、基本条例を作り、上下水道を整備するなど行政と店、住民も一体となつて復活させました。今では海外からの観光客も多く経済効果は100億円です。いろいろとやりようはあると思つて動きたいですね。

―仙台も昔、西口の駅前通りに屋台が並んでいました。それを聞いてもったいないと思っ

和田 地方は人口減少が大きな問題で、政策としては将来的に集約型都市を目指していますね。ただ一方で「ポツンと一軒家」のような、あるいは集

落で山の中に住みたい人もいます。どちらがいいのかは私もまだよく分かりません。

地方への移住を促すのに、例えば、温室効果ガスの排出削減量を取引するカーボンスレジット制度を活用する。国（経済産業省、農林水産省、環境省）が認証する排出権取引「Jクレジット」を発展させる形で、地方で暮らす人が山林の

和田 ヨーロッパでは消費税（軽減税や付加価値税など）を経済状況に合わせて上げ下げしている。日本も食料品や

生活必需品の軽減税率を下げるなど、柔軟な税の運営はできるはずなんです。

私が以前から提案しているのは、国家戦略特区制度の枠組み。相続税のないシンガポールには富裕層が集まっていますね。震災復興の観点から東北の被災地を相続税の無税特区にすれば、富裕層が家を購入し滞在することで地域の収益に繋がります。

税を通して、自分の生き方と

広報委員長

山田 宗基

―福島原発事故の被災12市町村には、移住や事業を起こす際、国の支援が入ってますね。

食料自給率を握る地方で、例えば都道府県や市町村単位で、自給率が60%以上であれば何か税金が優遇される。本質的に国や地域が良くなる取り組みをすると結果として利益が上がる。そこに移住する人も増えるのでは。

◆AIと教育。我々にできること

和田 今後AIが入ること
で、働き方は大きく変わってきます。事務や会計処理は減り、アイデア、発想の豊かさなどクリエイティブな力が求められます。

未来を担う子どもたちに教育ICT環境の充実を図る「GIGAスクール構想」(文科省/2019年)では、全国の小・中・高等学校で高速大容量の通信ネットワークを整備、1人1台のコンピュータやタブレット端末の整備が進められました。

この施策や効果が世界でも

驚かれています。私の中学生の息子はCADの入門ソフトで立体設計をしていました。高校や技術的な専門学校で学ぶことを、理系文系関係なく、中学生ができています。小学3年生の娘もリモート会議をしながら、編集ソフトを共有しプレゼンするのが日常。この取り組みの効果を目の当たりにしました。

日本はAIで世界に20年遅れを取っていると言われますが、10年後はこうした教育を受けた子どもたちが間違いなく世界トップクラスで活躍していくと言われています。

AI関連の施策については現在、研究や活用、人材開発も含めて予算1000億円代ですが、今後アメリカ並みの1兆円代に乗せていくことになると思います。

◆租税教室をアプリに

―法人会の教育活動の中に、小中学校での租税教室があります。国民の三代義務である納税について、伝え方や内容は各会にまかされているの

ですが、我々は青年部会が主体となり、まちづくりの仕組みをボードゲーム形式で伝えています。

今後はその仕組みをDX化しようとして検討しています。メタバースの中でゲーム的にまちづくりを体験し、お金を稼いで納税する大切さを学ぶ。アプリか、ダウンロード形式か、実際の教育現場で活用できる形にしたいと思っています。

和田 税金についての教育は、小学生や中学生でも決して早くはない。その内容や方法については、県や市町村それぞれの教育委員会の考えにもより

ますが、民間である我々も教育に関わっていくのは大事なことです。

―どれくらい働いて納税すれば、学校や病院が成り立っているのか。本来納税義務についての教育の根底は家庭にあると思っているのですが、我々の経験を生かし、未来を担う子どもたちに楽しく伝えられたらと思っています。

和田 小学校(2018年)と中学校(2019年)において「道徳教育」が「特別の教科」になりました。報告書を見ると、子どもたちの「社会貢献

の大切さ」への理解が深まっている。税を考えることは、社会における自分の生き方を考えることにつながると思います。

―納税は国民の義務だと習いますが、私たちがよりよく生きるために、そして国を守るために税金が必要だということから始めたいですね。

和田 この先、5年くらいで技術、教育、暮らしも含めた社会は相当なスピードで変わります。我々50代どころか、30代以上もついていけないのでは。だからといって大人が何もできないわけではありません。



税制はシンプルであるべき。もっと柔軟な運用ができるはずだ

我々が将来の発展の枠組みを作り、子どもたちはAIを使って、新しい発想やアイデアを生み出す。大変化の時代を、社会を発展させるためにみんなで取り組んでいきたいものです。

◆みんなが納得できる「税」はあるのか

—今議論されている給食費無償化について。現場ではアレレギー対策など手間を掛けながらも、完食指導はせずに、無理に食べさせない教育になっている。無償化には税金が必要で、

そのうえで残している食育には矛盾があると感じます。社会サービスとしてどうなのか。もともと食べ物は食べる人が払うべきではないのです。

和田 給食費無償化には5000億円弱必要で、私は少子化対策の一つとしてやってもいいと思っています。でも一方で、

お弁当の学校もあるなど税の公平負担に関わってくる問題もあります。子育て世代には一定の減税措置をするほうが公平であると思います。

また今、医療や介護現場が

疲弊していて、経営が成り立たないという声を聞きます。報酬が公定価格で決まっており、技術を持ったプロだけ給料が安く離職も多い。このままだと、これまで国民として享受していた医療福祉サービスはなくなるかもしれません。国としては社会保障のサービスや行政のサービスをもっと分かりやすく提示しなければならぬ。税と社会保障の一体改革を行う中で、国民の皆さんに納得して納めてもらうための議論は必要です。まずは納税や社会保険料の徴収の仕

方を適正にしたうえで、法人税や消費税について議論する必要があります。税はシンプルであるべきで、根本的な税制改革をしないといけないと思っています。

◆子育てに不安のない社会を

—2070年には65歳以上が人口の40%を占めます。この先はまったなしですね。社会保障、医療関係を守ることは大事なことです。やはり人口が減ることで医療のサービスを保つことは難しいでしょうね。

和田 人口規模をどのあたりで維持するのか。これからアジアにおいては、インド、インドネシアが人口規模で影響力を持ちます。AIの進化を加速しても、その中で日本は9000万人を維持しないと経済的に厳しい。

社会基盤である人口は国力であり、国防でもあります。例えば他国が攻めてくるといつでも1億人が平和の意思

を示せばおいそれと攻めては来れないでしょう。

少子化問題には女性のキャリア形成を整えながら、子育てができる政策が必要です。例えば1家庭で余裕を持って3人育てられるくらいの社会にしないと。経済的な不安から子どもを持たない家庭もあるのも、1人生まれたら一括で1000万円を支払うのはどうでしょう。子どもが生まれたら家計が豊かになるイメージが大事だと思います。

—人がいないと国が成り立たない。子どもを産み育てることとは地域づくり、国づくりにつながる。子育てを社会的なものとして意識して考えないといけないですね。

和田 課題はありますが、私は未来は明るいと思っています。国は未来を牽引する仙台の経済人、仙台北法人会の皆さんと新しい時代に挑戦していきたいですね。



令和7年度通常社員総会



瀬古利彦氏



仙台北法人会は6月11日(水)、江陽グランドホテル(仙台市青葉区)において令和7年度通常社員総会を開催しました。

記念講演では「心で走る～マラソンリーダーからの提言～」と題し、長く日本のマラソン界を牽引してきた瀬古利彦氏が登壇。箱根駅伝やオリンピック日本代表選手としての活躍とオリンピック選手3人を輩出した指導者としての経験に基づき、組織づくりやリーダーとしての心得などをユーモアを交えながら語りました。

総会では菅原裕典会長が「法人会の会員同士、情報交換や意見交換を通じて切磋琢磨し、良き指導者になって企業の発展を目指す」と挨拶。住みよいまち、明るく元気なまちづくりへの貢献と「会員1割増強」の目標に向け協力を呼び掛けました。



菅原 裕典会長挨拶

議事では令和6年度事業報告、令和7年度正味財産増減予算書報告の後、令和6年度正味財産増減計算書について賛成多数で決議。続いて任期満了に伴う役員選任、定款変更(特別議案)、公益法人法改正に伴う役員選任など各議案についても賛成多数で決議されました。新たな代表理事、業務執行理事については臨時理事会にて選任され、結果報告がされました。

その後、永年勤続功労従業員、役員功労者、会員増強功労者等、各部門の受賞者の表彰が行われました。来賓祝辞では、仙台北税務署の丸山俊行署長から、当法人会並びに日々の活動にねぎらいの言葉とともに、退任副会長への感謝状も贈呈されました。

閉会後の交流会では、富谷市若生裕俊市長、菅原一博顧問からご挨拶をいただきました。各々交流を深めながら、盛会のうちに終了しました。

令和7～8年度新体制のご紹介

■ 正副会長

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	法人名	担当職務
会 長 (代表理事)	菅原 裕典	(株)清月記	
筆頭副会長 (代表理事)	菊田 浩之	菊田陶業(株)	共益事業推進担当
副 会 長 (業務執行理事)	加藤 稔	(株)山加加藤商店	税制担当
副 会 長 (業務執行理事)	清水 俊弘	コスモ警備(株)	総務担当
副 会 長 (業務執行理事)	高橋 文蔵	(株)ミヤックス	部会担当
副 会 長 (業務執行理事)	鎌田 善幸	(株)VIZEN	北部支部担当
副 会 長 (業務執行理事)	和田 剛和	(株)旭商会仙台店	南部支部担当
副 会 長 (業務執行理事)	山田 宗基	(株)山田製函	公益事業推進担当

■ 理事

役 職	氏 名	法人名
黒川支部長	松川 利守	(株)松川土木
泉東支部長	高橋 渉	(有)栗駒建業
泉西支部長	佐藤 渉	赤坂建設(株)
宮城支部長	富樫 利和	(株)富樫工業
北西支部長	熊谷 典博	(有)元祖仙台北駄菓子本舗熊谷屋
中央支部長	栗原 将光	(株)盛総合設計
北東支部長	福田 幸穂	(株)加納工業所

役 職	氏 名	法人名
総務委員長	沼田 隆	(株)山台リサイクルセンター
公益事業推進委員長	片桐 健司	感動ホームズ(株)
共益事業推進委員長	日下 邦明	(株)エフェクト
税制委員長	向山 豊	(株)在宅
税制担当	畠田 卓也	畠田卓也税理士事務所
女性部会長	佐々木 美和子	(株)佐々木工務所
青年部会副部会長	佐々木 一徳	白ゆり商事(株)
青年部会副部会長	服部 泰子	(株)サイコー

■ 監事

氏 名	法人名
後藤 道博	(株)江陽グランドホテル
中鉢 俊也	(有)中鉢会計事務所

氏 名	法人名
河原 真明	税理士法人F&Lパートナーズ
佐藤 秀春	佐藤秀春税理士事務所

『第45回定期総会』を開催 ～記念講演会で特殊詐欺の現状を学ぶ～

女性部会では、去る4月23日(水)ホテル白萩において、仙台北税務署や協力保険会社幹部、本部役員のご列席をいただき『第45回定期総会』を執り行いました。令和6年度の総括、そして令和7年度の事業計画等の議案は全会一致で可決承認。また任期満了に伴う役員選任についても承認され、新部会長に佐々木美和子氏(㈱佐々木工務所・黒川郡大和町)が就任しました。

総会後は記念講演会を併催。「油断は禁物!! 特殊詐欺にご注意! Part2」をテーマに、昨年に引き続き宮城県警察本部より講師を派遣し、今なお増加傾向にある特殊詐欺について宮城県の現状と対策について学びました。宮城県の令和6年末現在の被害金額は前年比の約1.6倍と非常に深刻な状況。これだけ注意を呼びかけられているにもかかわらず、被害者は老若男女問わず増加傾向だそうです。また、強盗事件も増えてきていることにも触れ、防犯グッズや書籍の紹介があり、参加者は紹介された物についてメモを取りさっそくネットで検索していました。困りごとや不安があれば、まずは最寄りの警察署に相談しましょう。

女性部会会員大募集! 入会初年度は年会費無料です。



令和7年度事業予定

- ◆第45回定期総会・記念講演会
4月23日(水)
- ◆税務研修会/5月23日(金)
- ◆被災地復興応援バスツアー(福島県相馬市)
6月4日(水)
- ◆小学6年生に対する租税教室
- ◆小学生に対する税に関する絵はがきコンクール募集
- ◆センスアップセミナー(マネーセミナー)
7月11日(金)
- ◆創立45周年記念事業/10月11(土)
- ◆令和8年新年会
- ◆社会貢献活動(未使用タオル収集、使用済み切手収集、エコキャップ収集)

※一部変更になる場合がございます。

令和7年度 部会長所信

令和7年度公益社団法人仙台北法人会青年部会部会長を拝命いたしました、高橋繁紀と申します。本会は40年以上の歴史を誇り、東北最大級の規模を有する青年部会です。税を通じた社会貢献活動や企業の健全な発展、地域社会への貢献という法人会の責務を果たすべく、部会長として責任ある役割を務めてまいります。

本年度のスローガンは、「共に創る力を合わせて、地域と未来を結ぶ青年部会へ」といたしました。この言葉には、企業や地域と共に新たな価値を創る「共創」の精神と、沖縄文化に根づく「結(ゆい)」一人と人とのつながり、助け合いの心を重ねています。

私は青年部会の姿を、一本一本の糸から織られる「布」にたとえています。部会員一人ひとりの知識や経験、個性という糸がしっかりと結びつくことで、地域に必要とされる、強くしなやかな一枚の大きな布のような組織が形づくられていきます。また、「不易流行」の精神をもとに、変わらぬ本質を守りながらも、時代に合わせて変化し進化できる組織を目指します。部会員の皆さまと共に、未来へつながる大きな布を織り上げてまいります。地域とともに歩む一年を、どうぞよろしくお願いいたします。



高橋繁紀

令和7年度『第42回定時総会』開催される!!

青年部会会員大募集中! 詳しくは→ <https://kitaho.or.jp/yg88>

青年部会(齋藤恵太部会長)では、去る4月22日(火)18:00より、「仙台迎賓会斎苑別館」にて令和7年度『第42回定時総会』を出席者50名(外 来賓17名・委任状37名)で厳粛に執り行いました。

総会では、令和6年度事業報告並びに収支決算報告と令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)につきまして、審議の結果、全会一致で原案どおり承認いただきました。その後、高橋繁紀令和7年度部会長より所信表明があり、齋藤恵太令和6年度部会長へ感謝状を贈呈し、閉会致しました。

定時総会終了後の懇親会では、令和6年度事業の振り返りや令和7年度新委員長による挨拶などを行い大いに盛り上がりしました。また多くのご来賓の皆様並びにOB会員の皆様にもご参加頂き、花を添えて頂きました。



もご参加頂き、花を添えて頂きました。

令和7年度活動スローガン「共に創る力をあわせて、地域と未来を結ぶ青年部会へ!」を合言葉に大きく飛躍する年とすべく今後も活動を行ってまいります。

支部別会員数 2025年5月31日現在

法人会入会のお声がけをしよう!

黒川
211社(±0)

泉東
229社(±0)

泉西
209社(±0)

宮城
149社(+1)

北西
307社(±0)

中央
242社(±0)

北東
287社(+1)

管轄外の賛助会員
91社(+1)

合計1,725社(+3) ※()内は2025年4月末会員数からの増減 ※管轄外の賛助会員は、仙台北税務署管轄外に所在する法人及び個人等。



退任のご挨拶

仙台北税務署長 丸山 俊行

この度の人事異動で、仙台北税務署長を最後に退官することとなりました。

菅原会長をはじめ、仙台北法人会の皆様には、在任中、税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

この一年を振り返りますと、税務署におきましてはスマホ申告やキャッシュレス納付の普及など、e-Taxを活用したDX推進の取り組みや、昨年六月から実施された定額減税に関する周知・広報に全力で取り組んで参りました。本減税措置も皆様の迅速な対応と制度へのご理解により、円滑に実施できたことへ深く感謝を申し上げます。

仙台北法人会の皆様におかれましては、納税意識の向上と企業経営並びに社会の健全な発展のため、税の啓発活動や社会貢献活動を精力的に展開していただいております。特に、税を考える週間では、今回で記念すべき十回目を迎えた税の絵はがき展をはじめ、盛大に開催いただいたことに、心より感謝申し上げます。

上げます。また、租税教室や税に関する各種講演会や研修会にご尽力いただいたことについても、改めて敬意を表する次第でございます。

令和七年度の皆様の事業活動がますます飛躍することをご期待申し上げます。

さて、現代社会におけるデジタルトランスフォーメーションは、私たちの生活や社会基盤を大きく変化させています。税務署におきましても、この変化に対応し、納税者の皆様の利便性向上と行政運営の効率化を図ることが重要な課題となっております。より効率的で信頼性の高い税務行政を目指すためにも、税のオピニオンリーダーである皆様の声にしつかりと耳を傾けながら、今後、より一層力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、公益社団法人仙台北法人会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナーを開設しました

源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナーとは、e-Taxソフト(WEB版)と同様の画面操作を用いて、徴収高計算書の作成・送信・納付手続を体験できるデモ操作ツールです。 ※体験できる機能は一部のみ



e-Tax によるキャッシュレス納付の利便性をぜひご体験ください

事前準備不要



パソコンやスマートフォンがあれば今すぐお試しください。e-Taxの操作性を気軽に体験することができます。

何度でも操作可能



デモ操作ですので、ミスを気にすることなく、利用できます。パソコンの操作が苦手な方でも、安心して利用できます。

操作確認用に



デモ操作の画面を確認しながら、実際のe-Taxの操作を行う使い方もできます。

その安心で、
企業とともに未来をつくる。

企業保障

DJIDO 大同生命
仙台支社/
宮城県仙台市青葉区大町1-1-1
(大同生命仙台青葉ビル3F)
TEL 022-221-5486

経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る!

BG Business Guard

AIG損害保険株式会社 仙台支店 TEL.022-221-2532

取得済みの上乗せ補償 ハイパー任意労災 (業務災害総合保険)	企業向け第三者賠償責任保険 ALL STARS (事業賠償・費用総合保険)	火災と地震災害に備える プロパティガード + 企業地価保険 (企業財産保険 財産損害賠償特約)	個人情報の漏えい事故対策 情報漏えいガード (個人情報保護保険)
---	--	---	---

22-073003

Aflac「生きる」を創る。

仙台総合支社
〒980-6122 仙台市青葉区中央1-3-1 アエル22階
法人番号 0220 0120-876-505

発行所/公益社団法人 仙台北法人会 発行人/会長 菅原 裕典

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3番22号(仙台ビルディング6階) 電話/022(263)0151 FAX/022(268)0205

編集/公益事業推進委員会 委員長 片桐 健司 印刷/笹氣出版印刷株式会社

きたほHotLineは皆様の会費によって製作されています。

きたほ
Hot Line

最新情報はホームページへ
<https://kitaho.or.jp/>

仙台北法人会 検索

